

1 調査方針等

1.1 調査目的

本調査は、高知県の依頼により、須崎港の港湾計画改訂に向けて、改訂案に係る航行安全対策を検討し、とりまとめることを目的とした。

1.2 経緯

須崎港は、リアス式海岸の地形を生かした天然の良港として、高知県の取扱貨物量の約76%を占める重要な港湾である。

現在の港湾計画は、平成11年に改訂されたもので、改訂から15年以上経過し、物流機能や防災面でも大きく変化していることから、港湾管理者である高知県において、港湾機能の再編も含め、今後のあり方について検討を進めているところである。

この検討を進め港湾計画を改訂する上で、船舶航行の安全性について検討を行うこととしたものである。

1.3 調査名

「須崎港港湾計画改訂に係る航行安全検討調査」とした。

1.4 調査方法

1.4.1 委員会の設置

学識経験者、海事関係者及び関係官公庁職員等からなる「須崎港 港湾計画改訂に係る航行安全検討調査委員会」を設置し、検討資料に基づき検討した。

検討資料は、委託者である高知県から提供を受けた資料を基に、公益社団法人神戸海難防止研究会（以下、「海防研」という。）が専門的立場から検討し、必要に応じ海防研常任調査研究委員等の参画を得て作成した。

<須崎港航行安全検討委員会支援委託業務>

1.4.2 委員会の構成

委員会の構成は、以下のとおりとした。

(敬称略・順不同 ※海防研常任委員)

委員	浅木 健 司	海技大学校教授 ※	
〃	廣野 康 平	神戸大学大学院准教授 ※	
〃	松岡 耕太郎	(一社)日本船長協会技術顧問 ※	
〃	高橋 克 行	(一社)須崎埠頭協会会長	
〃	岡田 俊 夫	高知県海運組合理事長	
〃	寺内 憲 資	高知県水先協会会長	
〃	大嶋 信太郎	住友大阪セメント(株)高知工場	高知工場長
〃	藤田 久 男	大窯汽船高知(株)統括部長	
			以上 8 名
関係官公庁	村松 一 昭	第五管区海上保安本部交通部長	
〃	揚野 寛 治	高知海上保安部長	
〃	宮島 正 悟	四国地方整備局港湾空港部長	
			以上 3 名
委託者	高知県		
事務局	公益社団法人 神戸海難防止研究会		

1.5 調査項目

- (1) 港湾計画改訂案の船舶航行の観点からの安全性
- (2) 港湾計画改訂案に係る航行安全対策

1.6 調査条件

- (1) 調査期間は、原則として平成 29 年 8 月 15 日から平成 30 年 1 月 31 日までとした。
- (2) 原則として委員会 1 回とした。

1.7 委員会の検討事項

- (1) 調査方針等
- (2) 須崎港の航行環境
- (3) 現行の港湾計画（平成 11 年改訂）の概要及び進捗状況
- (4) 港湾計画改訂案
- (5) 港湾計画改訂案の船舶航行の観点からの安全性
- (6) 港湾計画改訂案に係る航行安全対策
- (7) 報告書の構成

1.8 委員会の開催状況

委員会は、以下のとおり開催した。

1. 日 時 平成 29 年 11 月 20 日（月） 13:25～15:40
2. 場 所 ラッセホール リリーの間
3. 出 席 者 巻末の委員会議事概要 出席者名簿のとおり。
4. 議 題
 - (1) 調査方針について
 - (2) 港湾計画改訂の概要について
 - (3) 航行環境について
 - (4) 航行安全性の検討について
 - (5) 報告書構成について
5. 検 討 資 料
席上配布
 - (1) 検討資料委-1 調査方針（案）
 - (2) 検討資料委-2 港湾計画改訂の概要（案）
 - (3) 検討資料委-3 航行環境（案）
 - (4) 検討資料委-4 航行安全性の検討（案）
 - (5) 検討資料委-5 報告書構成（案）
6. 審 議 結 果
巻末の委員会議事概要のとおり。